



**Micro Focus Net Express 4.0 J**  
**Windows Server 2003 x64 Edition 動作検証**  
**検証結果報告書**

平成 17 年 8 月 30 日

マイクロフォーカス株式会社

## 1. 検証概要、目的及びテスト方法

### 1.1 検証概要

既に Windows 32Bit で動作保証されている Micro Focus Net Express 4.0 J を、Microsoft Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition の 32Bit モード上で動作検証しました。

### 1.2 目的及びテスト方法

Micro Focus Net Express 4.0 J は、現在 Windows XP Pro、Windows 2000 などの 32Bit オペレーティングシステムで動作保証されています。

Microsoft Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition は、Windows 32Bit アプリケーションを稼働させる WOW64 エミュレータアーキテクチャを持っており、既存の 32Bit アプリケーションはそのまま動作します。従って Net Express 4.0 J もそのまま動作するはずですが、今回、COBOL 言語の機能を網羅的に実行するテストスイートを実行することによって、このことを実際に検証しました。

テストスイートは、ANS85 COBOL 構文を網羅的にテストするものを使用しました。これによって、COBOL コンパイラが使用するすべての CPU 命令、Windows API を網羅できるので、万が一 WOW64 エミュレータ独自のアーキテクチャの非互換があった場合に検出できるものです。

## 2. 使用ハードウェア及びソフトウェア一覧

HP ProLiant ML350 Intel Xeon CPU 3.00GHz

Microsoft Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition

Micro Focus Net Express 4.0 J + All WebSync WrapPack 4.0.005

## 3. テスト内容

AISI85 規格 COBOL の言語機能の網羅テスト

以下の試験項目を、.int コードと実行形式の両方で、32Bit、64Bit の両方について実行し検証しました：

中核 94 本、順編成ファイル 85 本、相対編成ファイル 35 本、索引編成ファイル 42 本、

ソートマージ 40 本、プログラム間通信 47 本、組み込み関数 42 本、ソートマージ 40 本、プログラム間通信 47 本、組み込み関数 42 本

## 4. 結果

### 4.1 インストール

Net Express 4.0 J の製品 CD-ROM から標準の方法でインストールすることができませんでした。これは、Net Express 4.0 J のインストーラに一部 16Bit InstallShield が使用されていることに起因します。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2003/64bit/x64/deploy.msp>

で記載されているとおり、Windows x64 Edition は、16Bit アプリケーションの稼動は許容していません。32Bit 互換モードのアプリケーションのインストール先のデフォルトが "C:¥Program Files (x86)" になっていますが、インストーラは "(" を含むフォルダ名にインストールすることができません。

このため以下の回避策によってインストールしました。

(1) 製品 CD の内容を C:¥NX40 にコピーします。

(2) C:¥NX40¥SETUP¥NXSETUP.INI をメモ帳で開き、

```
DefaultDirectory=<PROGRAMFILES>¥Micro Focus¥Net Express
DefaultNewDirectory=<PROGRAMFILES>¥Micro Focus¥Net Express 4.0
```

と書かれている箇所をすべて

```
DefaultDirectory=C:¥Program Files¥Micro Focus¥Net Express
DefaultNewDirectory=C:¥Program Files¥Micro Focus¥Net Express 4.0
```

に書き換えます。(複数箇所ありますので注意してください)

(3) Windows コマンドプロンプトから、以下のようにセットアップを起動します：

```
C:¥NX40¥SETUP¥SETUP.EXE /INI=C:¥NX40¥SETUP¥NXSETUP.INI
/NO_SUBSYSTEM
```

(4) 以下、通常のインストール指示に従い、デフォルトでインストールします。

(5) All WebSync WrapPack 4.0.005 をダウンロードし、適用します。

#### 4.2 テストプログラム実行結果

上記のテスト内容のすべてを実行し、問題は検出されませんでした。

### 5. テスト結果及び考察

Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition を実行する EM64T アーキテクチャのサーバー環境で、既存の Micro Focus Net Express 4.0 J 製品を、32Bit モードで問題なく使用できることが検証できました。これをもって、弊社の正式な動作保証といたします。

同様に、この方法でインストールされた Micro Focus Net Express 4.0 J を、Windows Server 2003 Standard x64 Edition および Windows XP Professional x64 Edition 上でも動作保証いたします。

なお、この動作保証には Net Express with .NET は含まれません。

実行環境製品である Micro Focus Enterprise Server for Windows, Micro Focus Application Server for Net Express, Micro Focus Run Time System のインストーラは、64Bit Windows では動作しません。上記のような回避策も存在しません。しかし、実行環境製品には、手動インストールのオプションが用意されていますので、これを前提としての動作保証となります。

以上